

エネルギー環境教育の ひろば

北海道エネルギー環境教育
研究委員会 広報部会
令和6年(2024年)
6月5日(水)発行
第57号



令和6年度総会開催 ー令和6年5月18日(土)ー



5月18日(土)、ホテルライフポートにて、令和6年度北海道エネルギー環境教育研究委員会総会を開催いたしました。初めに本委員会委員長、香西尉男札幌市立本通小学校長よりご参会の皆様にご挨拶がありました。その中で「本会はエネルギー環境教育の推進を目的とし、関連する教科がその枠を超えながら、札幌、道南支部、旭川支部、道東支部と広く全道各地において幅広い活動を行い、小学校・中学校・高校と系統立てて研究を進め、総合的に捉えながら研究と授業実践を推進してきた。」「エネルギー環境教育の研究を、エネルギーを切り口に環境教育を推進するという一貫した姿勢で、他の教育団体には無い、教科・校種の枠を超えた他に類を見ない継続的な活動が行われている。」と本会が向かうべき方向性を改めて示されました。

令和5年度活動報告・令和6年度活動計画

「令和5年度活動報告・令和6年度活動計画」についての説明がありました。始めに、令和5年度の成果と課題を確認するとともに、校種や教科の枠を超えた活動が本会の最大の特色であることを改めて共通理解し、今年度も各部会の連動と3支部との連携により長期的に持続可能な活動の推進と充実を図っていくことが確認されました。次に、令和6年度の活動方針について、本研究委員会が設定したエネルギー環境教育の『研究仮説』について改めて検証しました。同時に学習指導要領と、我が国のエネルギー政策を捉えながら研究の方向性を確認し、異校種・異教科の全領域を対象として『エネルギー環境教育』に関する授業実践の充実を図ることが再確認されました。加えて、11月29日(金)に札幌市立手稲北小学校にて開催する「第10回北海道エネルギー環境教育研究大会」に向け研究仮説の検証と、研究の方向性と授業の在り方等、準備を進めていくとの説明がありました。また、8月2日(金)に北海道電力(株)の水素製造装置や大型蓄電池の視察研修を開催すること、令和7年2月15日(土)にホテルライフポート札幌を会場に、全体研修会として第10回大会の授業実践報告及び講演会を実施する旨の説明がありました。

続いて、札幌市立手稲北小学校校長長堀裕信幹事長より



各支部計画

各支部より令和5年度の報告と令和6年度の計画について報告がありました。以下に令和6年度の計画を抜粋して掲載します。

【道南支部】

【支部の活動】

○学習会・授業研・実践交流…ICT、オンライン等を活用しての研究実践

○研究大会への参加

○視察研修の実施

○各研究団体との連携

【研究計画】

4月：道南支部事務局会議

6月：道南支部事務局会議

7月：道南支部研究部会

8月：道南支部事務局会議・研究部会・視察研修

9月：道南支部研究部会・各研究会との連携会議

10月：道南支部事務局会議・研究部会

第79回北海道社会科教育研究大会函館大会への参加

11月：第71回北海道小学校理科教育研究大会函館大会への参加

第10回北海道エネルギー環境教育研究大会札幌大会への参加

12月：道南支部事務局会議・授業研・実践交流

1月：各研究会との連携会議

2月：道南支部事務局会議

3月：道南支部事務局会議

【旭川支部】

○会議の開催

4月『旭川市教育研究会理科部会』

5月『理科教育の3団体旭川・北海道道北支部総会』

○研修会の開催予定

『旭川市小中学校教育研究大会』

令和6年10月8日(火) 会場・講師 未定

○北海道小学校理科研究会旭川支部との連携

『第62回北海道中学校理科研究会

函館大会』での研究発表

令和6年10月18日(金) 会場 函館市立深堀中学校

○各種研修会、勉強会への参加、研究補助

○他の教育研究団体との連携と組織の拡大

【道東支部】

○事務局の活動

・6月 第1回事務局会議

・7月 第1回副支部長会議

・8月 エネルギー施設見学会

・10月 第2回事務局会議

・9～12月 道東支部研究大会

・3月 第2回副支部長会議・第3回事務局会議

○エネルギー環境教育に関わる実践

・所属研究団体の全国・全道大会への協力

北海道特別活動研究大会釧路大会

・所属研究団体への教材補助、実践交流

・北海道電力(株)との連携視察研修

・各研究会等への参加

○授業実践(堂塔支部研究大会)

9～12月 日程、会場 未定

○実践発表

日本エネルギー環境教育団体(JAEE)第18回全国大会への参加

発表 釧路市立鶴野小学校 小野寺 隆 教諭

小学校5学年 総合的な学習の時間

「私たちのSDGs～釧路×環境×エネルギー～」

令和6年度役員人事

令和6年度の人事について以下のように承認されました。

○委員長	香西 尉男	札幌市立本通小学校長	(小：理科)
○幹事長	長堀 裕信	札幌市立手稲北小学校長	(小：生活)
○幹事	・ 開発部会長	増谷 忍	札幌市立平和通小学校長 (小：理科)
	副部会長	伊藤 彰英	札幌市立稲積中学校長 (中：技術)
	・ 研究部会長	下山 敏晴	札幌市立発寒中学校長 (中：社会科)
	副部会長	川見 明子	札幌市立西岡北小学校長 (小：生活)
	・ 広報部会長	小林 俊晴	札幌市立北白石小学校長 (小：社会科)
	副部会長	高橋 美保	札幌市立明園小学校長 (小：家庭科)
	・ 高校代表		
	・ 大学代表	杉山憲一郎	北海道大学名誉教授
○理事			
・ 研究団体代表	北海道生活科・総合的な学習教育連盟	川見 明子	札幌市立西岡北小学校長
	北海道生活科研究会	長堀 裕信	札幌市立新川中央小学校長
	北海道小学校理科研究会	増谷 忍	札幌市立平和通小学校長
	北海道小学校家庭科教育連盟	高橋 美保	札幌市立明園小学校長
	北海道社会科教育研究会	下山 敏晴	札幌市立発寒中学校長
	北海道社会科教育連盟	高梨 康人	札幌市立新陵東小学校長
	北海道中学校理科教育研究会	熊谷 誠二	札幌市立西野中学校長
	北海道技術・家庭科教育研究会	柳剛 好明	札幌市立明園中学校長
	北海道道德教育研究会	三上 寛晃	札幌市立厚別北中学校長
	北海道特別活動研究会	井田 敦	札幌市立大谷地東小学校長
	北海道高等学校理科研究会		
	日本生物教育学会・北海道生物教育会		
	北海道大学エネルギー教育研究会	小崎 完	北海道大学大学院工学研究院教授
・ 支部長	道南支部長	若林 慎也	函館市立高丘小学校長
	旭川支部長	谷越 秀樹	旭川市立新富小学校長
	道東支部長	藤森 健浩	釧路市立青陵中学校長

講演『エネルギー環境教育の現状と課題』

講師：北海道教育大学 大学院教育学研究科 高度教職実践専攻 教授：渋谷 一典 氏

総会の報告に続いて行われた講演では、北海道教育大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻教授の渋谷一典氏に、『エネルギー環境教育の現状と課題』という演題で講演していただきました。最初に各自の携帯で回答ツールへアクセスし、要所で、投票機能を使うという参加型スタイルで公演が進んでいきました。渋谷氏から、「総合的な学習の時間を例にした教育課程の編成」ということで、創設の経緯から講演が始まりました。探究的な学習とは、物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営みという前提の下、本会の研究仮説を学習指導要領改訂に伴い育成する資質、能力であるとし、1. 知識・技能 2. 思考・判断・表現力 3. 主体的に学習に取り組む態度の3つの柱と照らし合わせながら整合性を確認していきました。また、持続可能な社会づくりの担い手として生きる力が育まれることも示唆していただきました。本会が異校種・異教科で成り立つ事情を加味し、愛知県岡崎市の中学校の授業映像を視聴し、共通土台の下、今日における様々な成果を共有していきました。その中で、1. 課題の設定 2. 情報の収集 3. 整理、分析 4. まとめ、表現の探求プロセス（4つの学習過程）がスパイラルし、効果的に具体化、焦点化されることで、より多面的、多角的な方向で課題解決がなされることや、外部教育支援の積極的活用・人材発掘や、学校の特質に応じた協働的な学び、学校種を超えたカリキュラムの開発などが確認されました。その半面、「詳しく知るための調べ学習やより実感するための体験活動で終始してしまっている」ことや、「探求のサイクルが単発で終了してしまっている」ことなど、学習対象が抱える問題状況に迫り切れていないのでは？というご示唆をいただくなど、回答ツールも効果的に活用しながら幅広くご講演いただきました。



講演後の質疑応答では、「言語能力の育成」に対し、「言語能力の育成は総合的な学習の時間のみならず、各教科レベルでの教育活動を充実させていくことが必要」とご教授いただきました。また、「学習を深化・収束させるための手法」に対しては、「欲張りすぎず、端的に焦点化させるとともに、みんなで解決できたというところに価値を求めていくことが重要」とのお考えを示されました。講演終了後、下山研究部会長から謝辞とともに、「総合的な学習の時間の横断的なものが、本会の特徴でもある、エネルギーという媒体を通して、教科を横断して研鑽を積むことに類似している」と抱負が述べられました。

